

第1回岡山県後発医薬品の安心使用のための協議会 議事概要

○日時

平成30年10月17日（水） 14:00～16:00

○場所

ピュアリティまきび 飛鳥の間

○出席者

岡山県後発医薬品の安心使用のための協議会委員	16名
事務局 岡山県保健福祉部医療推進課	3名
〃 医薬安全課	3名

○欠席者

なし

○協議内容

- 1 岡山県後発医薬品の安心使用のための協議会設置要綱（案）について案のとおり承認された。
- 2 会長及び副会長の選出について
会長、副会長の選出を行った。

○議事内容

- 1 後発医薬品に係る国の方針及び現状について事務局より説明。

【主な発言内容】

質問：薬効別の後発医薬品の使用状況で、外皮用薬の使用割合が低いのは、後発医薬品の種類が少ないと理解してよいか。

回答：外皮用薬の中でも湿布は張り心地が違うということで、なかなか置き換わらない。一般用医薬品があるものは保険適用から外したらどうかと話も出ている。後発医薬品がないわけではないが、感覚についてはどうしようもない面がある。

2 医療関係団体・保険者等の取組について、各委員より説明。

【主な発言内容】

質問：あすか製薬のバルサルタン（後発医薬品）が、発がん性物質であるN-ニトロソジメチルアミンが混入している可能性があるということで自主回収された。原薬が中国産であったとも聞いているが、原因は。

回答：詳細は把握していないが、製造工程で生成した可能性や、薬機法のマスターファイル制度のため、第三者を通してしかデータを取っていなかったという可能性がある。

意見：後発医薬品に対する信頼がゆらぐ事態。行政もメーカーもしっかり説明してもらいたい。

3 アンケート調査の実施について

岡山県における後発医薬品に関するアンケート調査（案）の概要について、事務局より説明。アンケートの実施について、承認が得られた。

【主な発言内容】

意見：ポイントを絞り、患者アンケートを掘り下げて行う方がより効果的ではないか。

回答：前回の意識調査から8年経過しているため、現時点の岡山県の状況を把握した上で、今後の事業等を考えたい。

意見：わかりやすい説明でないと不安である。

回答：患者向けの調査票はできるだけ簡単に作っているが、ご意見があればいただきたい。

4 今後の予定について

アンケート調査について意見を徴収し、それを以て、会長と相談して進めることとなった。